

新潟県立がんセンター新潟病院 地域医療連携だより

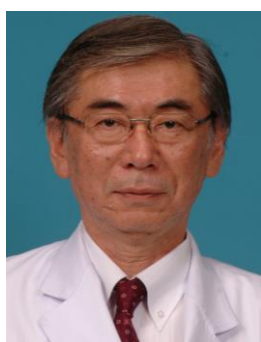
NEWSLETTER



平成 25 年 4 月

新年度にあたって

院長 横山 晶



今年も桜前線北上のニュースとともに新年度がスタートしました。3月に開催された当院の平成24年度地域医療連携講演会には多数の先生方にご出席頂きありがとうございました。あわせて、日頃の地域医療連携事業に対する多大なるご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

さて、当院では100名近い職員の異動とともに新年度がスタートしました。臨床部では、長年呼吸器外科で新潟の肺癌診療を牽引された小池副院長が定年退任され、後任には佐藤信昭臨床部長が昇任しました。消化器内科に成澤先生が赴任しました。また、当院の外科は4月より消化器外科と乳腺外科を標榜することになりましたのでよろしくお願い致します。今年度は近藤看護部長、照田事務長も退任されましたので、本紙面で新任の看護部長、事務長にご挨拶をお願いしました。新体制になりましたが、これまで同様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

わが国は前例のないスピードで超高齢社会をむかえており、国民の2人にひとりががんに罹患し、3人にひとりががんで亡くなる時代となっております。がん診療連携拠点病院は、がん医療の均てん化を目的にすべての2次医療圏に原則1つを目指して、2次医療圏の68%に整備されてきました。新潟県でも9つの医療機関が指定されています。しかし、全国的に空白の医療圏が存在すること、拠点病院格差が大きいことなどが問題となっており、拠点病院のみの「点」ではなく、より医療連携を進めた制度にすべく再検討が行われています。何れにしても、もっと患者にとってわかりやすい制度にすべきであり、がんに罹った患者・家族の社会復帰までのフォローが支援できる体制づくりが必要と考えます。



当院の地域連携・相談支援センターは、地域完結型のがん医療の推進を目標に、連携医療機関の先生方との連携を強化して参りたいと考えておりますので、今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



がんセンターを彩る四季の花たち

地域連携・相談支援センターをご活用ください

看護部長 佐藤順子



日頃当院の地域医療連携事業にご支援を賜わり厚くお礼を申し上げます。

近藤看護部長が3月に退官された後4月より看護部長として着任いたしました佐藤と申します。どうぞよろしくお願い致します。

地域連携・相談支援センターの地域連携部門は、地域の医療機関、福祉保健機関、介護福祉機関等の連携窓口及び調整部門として機能しています。先生方からご紹介いただいた大切な患者さんについては、必要な治療等を安心して受けていただけるよう、また日常生活の急激な変化に対しても患者さんに適切な看護の提供を行ってまいります。

都道府県がん診療連携拠点病院の相談支援部門としては、医療福祉相談やがん専門看護師によるがん相談、転院や、職場・学校に関することも専門の相談員が対応しております。

新年度がんセンター新潟病院の看護部は35名の新・転入者を向かえ総勢約400名でスタートいたしました。平成26年2月には当看護部が事務局の第28回日本がん看護学会学術集会が、朱鷺メッセを会場に開催される予定となっております。都道府県のがん診療連携拠点病院としての当院の役割はますます拡大するとともに、それに対応できる安全で安心な医療提供のため、看護職員の1人1人が医療者としての知識・技術・態度・心構えに対して学びを深めていくことが重要と考えております。

地域連携・相談支援センターには看護師が3名配置していますが、機能を充実させ「地域に開かれた」センターとなるように努めてまいります。

どうぞ、ご活用ください。



就任のご挨拶

事務長 宮本 豊博



本年4月、事務長に着任しました宮本と申します。どうぞよろしくお願い致します。

がんセンター新潟病院に配属される前の4年間は、人口当たりで全国40位台と厳しい状況にある本県の医師数を増加させるため、全国各地に出向き、様々な情報発信を行ってまいりました。対象は、本県出身の県外大学医学生や新潟大学医学部を卒業し、県外で勤務している医師を中心としていましたが、新潟に縁もゆかりもない医師や医学

生にも積極的に働きかけを行ってきました。

こうした勧誘活動を行っている中で、特に県外の医療関係者が重視するポイントは、やはり生活環境と勤務する病院の魅力です。大都市圏に比べれば、生活環境においては、圧倒的な人口差を背景とした文化・教育面や冬の積雪などの地理的な気候差等については、いかんともしがたく、新潟の魅力に気づいていただくまでには、ある程度の時間が必要となります。

一方、病院の魅力を高めていくことは可能であり、高度医療機器の整備やキャリアアップできる研修・研究機能の整備のほか、働いてみたい病院づくりを進めることが重要であると感じていたところでもあります。

こうした中、がんセンター新潟病院に配属され、職員の1人として病院づくりに関わらせていただくことになりました。

当院は、県内のがん治療の中心的役割を担う都道府県がん診療連携拠点病院であり、がんの診療と研究に重点をおいた総合病院として、県民に高度先進医療を提供するという高い使命を遂行するため運営されております。

当院が、安全で安心な医療の提供はもちろんのこと、こうしたがん診療に関する県民の期待に添えていくことにより、自ずと県民から信頼される病院となり、ひいては医療従事者に魅力がある病院になっていくことになるのではないかと考えております。

微力ながらお役に立てるよう努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ボランティアさんの紹介

ホスピタルクラウンさん（小児科病棟ボランティア） 第2水曜 14:30～

メンバーは 写真のえんじゅる君（男性）ピカさん（女性）他にねんじ君がいます。3人でローテーションを組んでいます。

『子供たちに笑顔を』『笑いを引き出せるように』がモットーです。

お子さんのベットサイドまで遊びに行くよ。お子さんの状況に合わせて、マジックや音楽などを使って一緒に遊びます。いつもありがとう！



新潟県立がんセンター新潟病院 2013年（平成25年）4月外来診療予定表

4月1日現在

		月	火	水	木	金
内	401診	D 張 高明	A 成澤 林太郎	D 廣瀬 貴之	/	
	402診	C 高山 亜美	D 今井 洋介	C 大倉 裕二	D 石黒 卓朗	D 今井 洋介
	501診	C 大倉 裕二	F 谷 長行	F 谷 長行	/	
	502診	A 青柳(午前) A 加藤(午後)	E 大山 泰郎	A 加藤 俊幸	E 大山 泰郎	B 阿部 徹哉
	601診	B 横山 晶	A 本山/栗田(隔週)	B 阿部 徹哉	A 栗田 聡	B 田中 洋史
	602診	A 本山 展隆	A 船越 和博	A 佐々木 俊哉	A 船越 和博	C 高山 亜美
	201診	B 田中 洋史	/		B 樋浦 徹	B 馬場 順子
科	新患 (2診体制)	A 成澤 林太郎 A 佐々木 俊哉 B 阿部 徹哉 F 谷 長行	A 青柳 智也 B 林 芳樹 C 大倉 裕二 D 石黒 卓朗	A 船越 和博 B 田中 洋史 D 今井 洋介 E 大山 泰郎	A 加藤 俊幸 B 馬場 順子 C 高山 亜美 D 廣瀬 貴之	A 本山 展隆 A 栗田 聡 B 樋浦 徹 D 張 高明
	*新患は2名の医師が担当します。当日の担当医についてはお問い合わせください。					
A：消化器 B：呼吸器 C：循環器 D：血液 E：内分泌 F：糖尿病						
小児科	1診	浅見 恵子	小川 淳	渡辺 輝浩	浅見 恵子(～11:00) 長期フォローアップ外来 (11:00～)	小川 淳
	2診	/		/		渡辺 輝浩
外科	1診	佐藤 信昭(乳腺)	梨本 篤(胃)	土屋 嘉昭(肝胆脾)	中川 悟(食道)	瀧井 康公(大腸)
	2診	金子 耕司(乳腺)	松木 淳(胃)	野村 達也(肝胆脾)	藪崎 裕(胃)	丸山 聡(大腸)
	3診	橋本 喜文	會澤 雅樹	神林 智寿子(乳腺)	番場/小島(交替)	西垣/福本(交替)
	予防センター-乳腺	/		金子/長谷川	佐藤 信昭	神林 智寿子 佐藤/神林(交替)
*乳腺外科については原則予約制となりますので、あらかじめご了承ください。						
呼吸器外科	吉谷 克雄	青木 正	篠原 博彦	青木 正	篠原 (1, 3, 5週) 吉谷 (2, 4週)	
整形外科	新患	小林 宏人	畠野 宏史	守田 哲郎	有泉 高志	村井 丈寛
	再来	守田 哲郎	有泉 高志	村井 丈寛	畠野 宏史	小林 宏人
*整形外科は完全紹介制となりますので、あらかじめご了承ください。						
神経内科	原山 尋実	二宮 格	原山 尋実	/		原山 尋実
脳神経外科	1診	宇塚 岳夫	/		宇塚 岳夫	高橋 英明
	2診	高橋 英明	/		高橋 英明	宇塚 岳夫
婦人科	1診	児玉 省二	本間 滋	笹川 基	児玉 省二	本間 滋
	2診	笹川 基	菊池 朗	菊池 朗	菊池 朗	笹川 基
	3診	加嶋 克則(午前)	児玉 省二	本間/加嶋	本間/加嶋	児玉 省二
*婦人科3診については原則予約制となりますので、あらかじめご了承ください。						
皮膚科	新患	竹之内 辰也	高塚 純子	竹之内 辰也	林 良太	高塚 純子
	再来	高塚 純子	竹之内 辰也	竹之内 薫子	高塚 純子	竹之内 辰也
泌尿器科	1診	北村 康男	小林(1, 3, 5週) 北村(2, 4週)	斎藤 俊弘	斎藤 俊弘	北村 康男
	2診	小林 和博	山崎(1, 3, 5週) 斎藤(2, 4週)	小林 和博	山崎 裕幸	山崎 裕幸
*新患については紹介状が必要となりますので、あらかじめご了承ください。						
眼科	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	
頭頸部外科	1診	佐藤 雄一郎	富樫 孝文	/		佐藤 雄一郎
	2診	甲斐 竜太	甲斐 竜太	/		富樫 孝文 甲斐 竜太
放射線治療科	1診	杉田 公	杉田 公	杉田 公	松本 康男	松本 康男
	2診	松本 康男	松本 康男	松本 康男	杉田 公	杉田 公
*木曜日の新患依頼は対応できない場合がございます。ご了承ください。						
麻酔科	丸山 洋一、高田 俊和、富田 美佐緒 (月～金 予約可能)					
緩和ケア科	齋藤 義之	齋藤 義之	齋藤 義之	齋藤 義之	齋藤 義之	
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方を対象としております。						

※ 変更となる場合がございますので、事前にご確認ください。(電話：025-234-0011)

新潟県立がんセンター新潟病院 地域連携・相談支援センター(地域連携部門)
 TEL:025-234-0011 FAX:025-234-0022 受付時間 月～金 8:30～17:00
 地域連携・相談支援センターを通して予約した場合、原則として予約日当日に行える検査
 CT、腹部超音波、MRI、食道・胃・十二指腸内視鏡、PET-CT
 時間外のFAXについては、平日夜は翌朝、金曜夜から日曜は月曜の朝にお返事申し上げます